

留学生就職促進プログラム 中間評価所見

大学名：東洋大学

○「留学生就職促進プログラム委員会」における所見

1. 全体の進捗状況、取組と就職率向上の見通し

○概ね計画通りの取組である。

国内企業等への就職率が向上しつつあり、ビジネス日本語、インターンシップ教育等のコンテンツも順調に整備されている。留学生が地方での就職機会に目を向けることができ、他大学にも参考になる取組といえる。

2. プログラムの内容の進捗状況

○概ね計画通りの取組である。

日本語教育に関して、独自の教材開発や学習時間の確保など充実したプログラムを作り上げている。

また、地域の特徴を見られる要素のある授業を開発したり、インターンシップもツアー要素を入れ工夫したり、意欲的な展開している

3. 実施体制の構築、活動状況

○概ね計画通りの取組である。

東洋大学の留学生には多くのメリットを生み出しているが、参画する他の2大学の留学生に対するメリットも多く得られるよう取組を工夫することが期待される。

3大学の距離がかなりある中で努力を積み重ねていることは評価できるが、委託期間終了後に自立的な運営を実現していくためには、より具体的な方法を提示することが必要である。

4. 他大学が参考にできる事項等

○首都圏の留学生に地方の企業体験を授業に組み込むことにより組織的計画的に実施するとともに、地方での就職ガイダンスを行い効果を上げている点は、今後の就職促進の取組の方向を示唆するものとして興味深い。